

シリーズ 狙われる子どもたち①

「GIGAスクール



構想の光と影」



一生情報を
とられる社会
がやってくる?

講師：田中 康寛さん (大阪教育文化センター事務局次長・元大阪教職員組合中央執行委員長)

2020年度、新型コロナウイルスの広がる中で一気に日本中に広まった「GIGAスクール構想」による「1人1台タブレット」。導入後、学校現場ではどんなことが起きているのでしょうか？そもそも「GIGAスクール構想」は本当に子どもたちのためになっているのでしょうか。ブックレット『GIGAスクール構想の光と影、教育の展望—「個人の尊厳」を守り、教育保障を前進させるICTの活用へ—』を9月に刊行した大阪教育文化センターから講師をお招きし、実際現場で何が起きているか、そしてこの構想の狙いについてお話しいたします。ぜひご参加ください。

◎日時:2022年 **1月15日(土)13:30~15:30**(開場13:15)

◎会場:かでの27 10階 1040会議室(札幌市中央区北2西7)

◎参加費:1500円(当日+300円) ※スマホ・携帯を所有されていない方特別価格300円引き!

◎ご予約・お問合せ:whats.everything@gmail.com

主催:what's <https://whats-everything.jimdofree.com/>



What's

《お願い》
香りの強い洗剤、柔軟剤、ヘアスプレー、
香水は参加者の健康状態に影響する場合がありますのでご使用をお控えください。

GIGAスクール構想

◎1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する

◎これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

※文科省 HP より

https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt_syoto01-000003278_1.pdf